

第三回 IT 活用研究会(東京) 議事録

日時:	2011/04/27(水) 15:00~18:00
会場:	クオリティ(株) 本社 6F 会議室
テーマ:	iPad のビジネス活用とその導入事例
講師:	ソフトバンクモバイル株式会社 スマートフォン推進部 部長 兼 シニアエバンジェリスト 中山 五輪男 氏
司会・進行:	IT 活用研究会座長 HOYA 株式会社 オプティクス事業部 管理本部 情報システム管理課 IT グループ グループリーダー 柿崎 敦司 氏

※ 当研究会の運営方針により、個人/会社名を特定できる発言、および発表者から公開の許可を得られなかった内容は 議事録より削除されています。あらかじめご了承ください。

■講演

- iPad はノート PC の代替とはならないことを認識していただきたい。iPad はファイル作成には向いていない。
- Android 端末との比較
 - ・Android OS はバージョンアップが頻繁で、半年前の OS に対応しないということがある。これは Android が OS と端末、それぞれ別メーカーが開発しているから。ハードウェアメーカーは低コストで最高のパフォーマンスを出せるその時その時の最高のテクノロジーでハードウェアを開発しているが、OS がバージョンアップすると、通常より多くのパフォーマンスを要求するようになる。そうすると半年前のハードウェアでは追いつかないということになる。業務利用ということになれば、企業側として、端末は最低 2 年使わせたいと考えている。
 - ・OS セキュリティアップデートに端末が追いつかないということがある。iOS も Ver.3.0 の時にセキュリティが大幅に強化されたが、Android は OS のセキュリティ強化に、端末が追いついていない。
 - ・Android は管理機能やバックアップ機能が乏しい。iPhone&iPad は iTunes で端末を管理しているので、もし社員が端末を紛失しても、データの復元は容易。
 - ・Android は VPN クライアントが無い、データの暗号化もされていない。アプリの数も乏しく、アプリの審査を誰も行っていないため、20%以上はスパイウェアといわれている。そのためセキュリティソフトは多数リリースされているが、気をつけないといけないのは、そのセキュリティソフト自身がスパイウェアの可能性もある。とりわけ無料のセキュリティソフトはリスクが高いので使うべきでない。
 - ・スマートフォンは、PC と同様、ルートアカウントがあって、これが様々なプロセスを動かしている。Android はこのソースコードを公開してしまっているため、技術力のあるハッカーであれば、ルートアカウントを乗っ取ることができてしまう。
 - ・iPhone は OS のカーネル部分と、アプリケーション領域を完全に遮断しているため。アプリケーションが OS のカーネル部分に干渉することができないサンドボックス構造であるため、セキュアである。
 - ・iPhone はハードウェアを暗号化している。AES256bit 対応しており、セキュア。よって iPhone アプリは自動的に暗号化されることとなる。
 - ・iPhone はすべての通信(インターネット、メール)が暗号化されている。

・Android 端末の開発側は、各メーカーで、差別化しようとハードウェアに異なる機能を載せようとするが、OS のバージョンアップについていけないという悩みを抱えている。

■講演への質問&ディスカッション

Q: iPadを社内に配布する場合、事前のキッティングをどうするかという問題がある。講演内でも、リモート管理でいくつかパターンがあるということだったが、具体的にどういう設定をして配布すれば良いのか。

A: SoftBank がビジネスコンシェルというサービスを提供している。有料だが、顧客ごとのカスタマイズを SoftBank 側で行い、箱が届いたらそのまま使えるというサービス。台数の制限も特には設けていない。このサービスを利用すると、部門毎、社員毎に、どれだけ使っているかなど、把握することができる。

Q: MDM(マスターデータ管理)導入して、管理者ががんばってキッティングすることは可能なのか？

A: 可能である。

Q: 事例としてはどういったところが多いのか？

A: 5000 台など大量導入する企業からの引き合いが多い。まず端末 5000 台を置くスペースが確保できないなど。

Q: 前回の iPhone の講演の際に、5 回パスワードのうち間違えデータ消去とか、証明書のインストールなど、構成プロファイルの話をしていただいたが、iPad も基本的に同様か？

A: 同様である。

Q: ビジネスコンシェルでも MDM でも良いが、キッティングして配布した後に、ジェイルブレイクされたことを把握できるのか？またそれを防ぐことができるか？

A: MDM(マスターデータ管理)で把握できる。防ぐこともできる。

Q: MDM から構成プロファイルの設定はできるのか？

A: 初期設定段階では、MDM の前に構成プロファイルを作成しておく必要がある。

Q: その際、各端末を PC に接続が必要なのか？

A: ユーザが各々端末を PC に接続する必要はない。設定ファイルはメールなどで配布することができる。

Q: SoftBank 社内では、iPhone と iPad が 1 台ずつ社員に配布されていると思うが、それによって、これまでの PC 環境、オフィス環境がどう変わったのかが知りたい。

A: 講演内で紹介した「ホワイトオフィス」があるが、ソフトバンクテレコムは早くからこのワークスタイルを導入している。当初フリーアドレスで席は自由、キャビネットも無い、内線のケーブルなどもない。iPhone が内線代わりになっている。しかしながらフリーアドレスは、しばらくやってみたが、社員の所在が分かりにくいということで、現在は固定となっている。営業は、iPad/iPhone 配布の代わりにモバイル PC を取り上げられたが、内勤のメンバーはシンククライアント端末を利用している。

しかしながら、「ホワイトワークスタイル」はメリットばかりではない。営業は PC を取り上げられたので、資料の作成に苦慮している。社風として、まずは新しいスタイルでやってみろという形でやっているが、iPad では提案資料の作成が事実上できない。そのため、資料作成用の端末を数台用意して、それを共有で使用している。

社員全員が「ホワイトワークスタイル」に満足しているわけではないが、以前の PC 環境は、各種セキュリティやアプリケーションがバックで動いており、立ち上げてメール確認するまでに 15 分近くかかっていたが、iPad なら 2 秒で立ち上がる。セキュリティもパスワードのみでやっている。

Q: 指紋認証などと比較して、パスワード認証だけだと脆弱ではないのか？

A: 現状はパスワードのみで運用できている。その代わり、パスワードは複雑なものにするなどの対策をしている。

Q: iPad 上で書類は作成できないのか？

A: 作ろうと思えば作れるというレベル。

Q: リモートログインしてやれないのか？

A: 可能である。しかしながら、基本的にタッチパネル操作なので、マウスが接続できない。タッチパネル操作の書類の作成は厳しい

Q: シンクライアントで資料を作成する場合、ユーザインターフェースが重要になってくるが、SoftBank ではどうしているのか？あと、ネットワークトラフィックの問題。朝夕などトラフィックが集中する時間はどうしているのか？

A: UI に関しては、社内の PC 端末は、高スペック、20 インチモニタの環境でやっているし、iPad の場合は、Bluetooth のキーボードなどを使っている社員が多い。環境も、VMware を使って、それなりのコストをかけて仮想化環境構築している。ネットワークに関しては、シンクライアントで送られてくる画像データは大きいと考えがちだが、そうでもない。時間帯で遅くなるということも感じたこともない。

Q: リモートデスクトップ上で、資料を閲覧する分にはトラフィックを気にする必要は無いと思うが、最近では動画が普通に使われている。影響はでないのか？

A: クラウド上に動画データをアップロードしておいて、「Handbook」(iPhone/iPad アプリ)上にダウンロードして使っている。iPad のローカルに落として動画を見せているわけではない。

Q: iPhone/iPad のパスワードロックに関して、どのくらいの間隔で変更ををかけているのか？

A: セキュリティポリシーの内容は言えないが、定期的に変更ををかけている。

Q: 切り替えはユーザにそういった指示が出るのか？それとも構成ユーティリティで変更が可能なのか。

A: 構成ユーティリティで変更ができる。

Q: 構成ユーティリティをメール添付などで送付した場合、そのメールを転送して、他のユーザがアップデートをかけてしまうなどのリスクはどうか。

A: 固体端末情報を持っているので、他のユーザが構成ユーティリティのアップデートをかけることはできない。

Q:iPad のモニタのサイズや重量に関して、過去にタブレット端末の営業に来た営業が、電車の中で使用していると言っていたが、実用的なのか？

A:用途と好みによるところはある。重さは片手で持つには厳しい。

Q:実際に iPad を現場などに渡して、無くした、破損させたなど、トラブルについて教えて欲しい。

A:iPad はあまり無いが、iPhone は、無くしたという事例はある。

Q:工場の作業現場では、iPad で閲覧しながら溶接するなどありそうだが、火花などで破損することはないのか。

A:医療の現場では特殊なカバーをかけて、タッチペンで操作したりしている。

Q:工場の作業現場では、iPad で閲覧しながら溶接するなどありそうだが、火花などで破損することはないのか。

A:医療の現場では特殊なカバーをかけて、タッチペンで操作したりしている。

Q:病院では、無線 LAN が走っているところは多いが、携帯が禁止のところが多いのは。

A:3G 回線は医療機器にほとんど干渉しない。第 2 世代(MOVA)の電波が干渉すると言われていて、ほとんど使われなくなっているの、携帯などの禁止が解除されるのは時間の問題だと思われる。

Q:iPad はバックアップ出来るが、PC 経由ではなくネットワーク経由でバックアップできないか？

A:できない。かならず母艦となる PC が必要である。OS のバージョンアップも iTunes を経由することが必須である。

Q:ユーザ各々が、自分の PC に接続してバックアップやアップデートをかけないといけないということか？

A:アップデート用の PC を用意して、iPad を無数の iPad にアップデートすることはできる。しかし、iPad から接続できる PC は最大 5 台までである。

Q:アプリを自由にさせようか。AppleID を個人のものを使わせるのかどうか。

A:SoftBank は自由である。社員は個人のアカウント、個人のカード番号を入力している。孫正義氏のポリシーでもあるが、iPhone に制限をかけるのは宝の持ち腐れになる、色んなことを自由にやって、色々経験しろということである。だからといって、業務時間中に音楽を聴いたり、ゲームをしたりしているものは皆無。iPhone アプリはそれぞれのアイデアで作られていて、使うごとに新しい発見がある。

Q:証券業界など、厳しそうなどころではどうなのか？

A:聞いている事例では、基本自由に使わせている。

ただ、業務で配布する iPhone/iPad の場合、アプリを自由にダウンロードということになると、だれがアプリの料金を支払うのかという問題が出てくる。iTunes カードを個人で購入するか、カード番号は個人のものを入力させるなどの運用をしているところがある。あとは、業務で利用するアプリは、個人に購入明細が来るので、これを後から証明として申請するなど。

Q:有償のアプリ、かつ業務で使わせたいものはどうすれば良いのか？

A:MDM などで配布してしまえば良い。

Q:シンクライアント端末としてのみ使わせるという運用はどうか？

A:もったいない使い方である。

Q:iPad は営業が利用して、内勤は PC など、ワークスタイルで使い分けるのが理想的ということか？

A:まさにその通りである。

Q:紹介された導入事例だと、ほぼすべて「見せる」というところに特化していて、何かアイデアを思いついた時にメモをすとか、ワークをするようなものがなかったが、そういう事例は無いか。

A: 本日参加された中で、すでに iPad を導入されている方は？

→閲覧しながら画面上でメモを取れるアプリを使っている。

→録音しながら議事録を取れるアプリも便利。

Q:大量導入した事例があると言っていたが、どういう運用をしているのか？

A:某メーカーでは、アイテムのカタログが膨大で、営業が持ち歩くのに非常に不便であった。器機のアップデートのたびにカタログも改定され、新旧の版管理もままならなかった。これが iPad1 台で済むようになった。CM での動画なども見せることができる。

Q:今最大の導入数は？

A:5000 台である。

Q:カタログなどの PDF を iPad で見せるという営業スタイルなら、紙で出力した方が良いと感じたが、どうなのか。

A:お客様事例では、iPadと紙の併用で営業を行なっていて、将来的にはiPadを使わなくても営業が出来るスキルを身につけて欲しいという形である。あと、紙では伝わらない、映像はiPadならではである。

→他意見:紙で会議資料を配って、終わったら廃棄などというスタイルは変えていかないといけないと考えている。

→資料が iPad1 台に入れて持ち歩ける点や、業務上、発色の部分も正確に見せる必要があるため、iPad はその点で優れていると感じる。他社製品との比較でも、発色が一番いい。

Q:iPad から印刷することができるのか？

A:印刷用のアプリが出ている。

Q:iPad 試験導入の段階。有効活用したいのは山々だが、iTunes の使用など、情シスとしてはハードルがある。他社ではどう考えているのか。

A: だいたいどの企業でも、最初に毛嫌いされるのが、iTunes である。あれはオーディオの管理ができるため、エンターテインメントソフトと思われるきらいがある。しかし、最近では「バックアップするためのソフトだ」と割り切って利用しているところが多い。

Q: 自社で使用するというより、お客様に操作していただくという目的で導入したいと考えているが、盗難や勝手にいじって欲しくない部分に触れられる点を懸念している。

A: 店舗用のスタンドや盗難防止用のケースがリリースされている。寿司店の事例でもあるが、ホームボタンをいじられないようにホームボタンが隠れるようなケースがある。ホームボタンをいじられると何でもできてしまうので。

Q: USB からの取り込みなど、iPad2 で拡張性が上がった部分はあるか？

A: iPad でも USB からの取り込みは可能。2 になったから大きく拡張性が変わっているということはない。

Q: 現在業務利用している Web アプリケーションを、iPhone/iPad のアプリとして使いたいが、どうか。

A: 2 種類あって、ネイティブアプリ、Web アプリがあるが、企業がどちらを中心で使っているかは分からない。Web アプリであれば、safari で動けば問題ない。ただ、表示サイズの調整が必要。